

国際交流センター企画 海外作家講演会

「困難な世界をデザインで生きていく」

リチャード・ファンデルラーケン

日時:10.27(木)17:40 - 19:00

会場:視聴覚教室

スピーカー

リチャード・ファンデルラーケン氏
(デザイナー/What Design Can Do 共同創設者)

ファシリテーター

伊東 勝
(SHIBAURAHOUSE代表)

逐次通訳あり



デザインと社会課題をつなげるオランダのプラットフォーム**What Design Can Do** (以下、WDCD)。

今回、創設者である**リチャード・ファンデルラーケン氏**が来日し、金沢美術工芸大学の学生に向けた特別講義を開催します。

リチャード氏は1995年、パートナーと共にグラフィックデザイン事務所を設立。以来、営利・非営利を問わず、オランダらしいユニークで質の高いデザインを提供してきました。その実績は広く認められ、オランダのアートディレクターズクラブ(ADCN)、オランダデザイン賞、イギリスのD&AD、ニューヨークADC、ヨーロッパデザイン賞(審査員賞を含む)など、数多くの栄誉ある賞を受賞しています。

2010年には数人のクリエイター仲間とともに、社会を変えるためのデザインについて話し合う国際的なイベントWDCDをスタート。WDCDは5年の歳月を経て、デザインの影響力を世界に知らしめる国際的なプラットフォームへと成長しました。

現在WDCDの代表として、ノルウェーから南アフリカ、そしてイタリアから中国まで、このプラットフォームを広めるために旅をしてきました。そして今回はまもなく開催されるデザインコンペティション「サーキュラー・チャレンジ」のプロモーションのたるに来日します。約二週間の滞在期間中には、東京・神戸・金沢の3都市でレクチャーやワークショップを行う予定です。

「(学生時代には)スキルを学ぶだけでなく、どうすれば自分のデザインスキルを社会で活かせるのかを学ぶべき」と語るリチャード氏。今回の講義では、自らの活動紹介に加え、学生のみなさんに向けたメッセージを共有します。ぜひこの機会に、世界で活躍するデザイナーのエッセンスに触れてください。